

◆ 学 位	学 位 名	博士(社会学) 一橋大学	修士(社会学) 一橋大学 修士(法学(政治学)) 慶應義塾大学
	取得方法	課程 平成 18 年取得	課程 社会学 平成 15 年 課程 法学(政治学) 平成 10 年取得
◆ 学 歴	大 学	慶應義塾大学法学部政治学科 平成 7 年卒業	
	大 学 院	慶應義塾大学大学院法学研究科政治学専攻 平成 10 年修了 一橋大学大学院社会学研究科総合社会科学専攻 平成 18 年修了	
◆ 学 内 職 務 (平成 29 年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ キャリア委員 宗教委員</li> </ul>		
◆ 担当授業科目 (平成 29 年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 産業社会学</li> <li>▪ 社会政策論</li> <li>▪ 国際経済論</li> <li>▪ 社会階層論 他</li> </ul>		
◆ 職務上の実績に関する事項 (資格, 免許, 特許, 等)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 専門社会調査士(平成 22 年取得)</li> </ul>			
◆ 専門研究分野		◆ キーワード	
産業社会学	社会政策論	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 雇用・労働</li> <li>▪ キャリア</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 経営・産業</li> <li>▪ 国際化</li> </ul>
◆ 研 究 概 要	日本における組織と労働市場の変容に関する研究		
◆ 所 属 学 会	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 日本社会学会</li> <li>▪ 移民政策学会</li> </ul>		
◆ 主要著書 (5 件程度)			
書名・タイトル	単/共	発行年月日	発行所, 発表雑誌等, 発表学会の名称
<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 『フィリピン人エンターテイナーの就労はなぜ拡大したのか-盛り場のグローバルゼーション』(五十嵐泰正編「労働再審 2」所収)</li> </ul>	単	平成 22 年 11 月	大月書店
<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 『産業社会学-歴史は繰り返す? 「働くこと」の社会学』(大関雅弘編「現代社会への多様な眼差し」所収)</li> </ul>	単	平成 29 年 3 月	晃洋書房
<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 『国際経済論-グローバル化は人々の幸福につながるか』(大関雅弘編「現代社会への多様な眼差し」所収)</li> </ul>	単	平成 29 年 3 月	晃洋書房

◆ 主要論文（5件程度）			
書名・タイトル	単/共	発行年月日	発行所, 発表雑誌等, 発表学会の名称
Boosting Japan's IT Labor Force - From Shortages to Skill Standards	共	平成 19 年 8 月	Asian Business & Management
平成不況期の人的資源管理改革による従業員意識の個人化—市場化する雇用関係	共	平成 20 年 6 月	一橋社会科学
非正規社員の多様化と基幹化	単	平成 21 年 8 月	一橋社会科学
韓国人 IT 技術者の送り出し過程と日本の外国人高度人材受け入れ—2000 年代の拡大局面に注目して	共	平成 26 年 5 月	移民政策研究
在留外国人統計に見る外国人労働力の性質と変容	単	平成 26 年 9 月	四天王寺大学紀要
「ブラック企業」問題とマネジメント	単	平成 29 年 3 月	四天王寺大学紀要
◆ その他（5件程度）			
書名・タイトル	単/共	発行年月日	発行所, 発表雑誌等, 発表学会の名称
外国人労働者の雇用実態に関する調査	共	平成 19 年 8 月	財団法人中部産業・労働政策研究会
フリーター経験の持つ意味 ~流通小売業チェーン店舗勤務者に見る仕事と意識~	単	平成 21 年 4 月	一橋大学雇用政策研究会
外国人研修生・技能実習生受入実態調査	共	平成 19 年 3 月、20 年 3 月、21 年 3 月、22 年 3 月、23 年 3 月	財団法人国際研修協力機構
経済辞典 第 5 版	共	平成 25 年 12 月	有斐閣
縫製業における労働力の国際化について	単	平成 25 年 3 月	法政大学比較経済研究所